（その 100）障害者の作業施設開設されます（2014.1）

８月末、日進町で永年お米屋さんを営んでいたＩさんから「取引している問屋さんが商売をやめたので店をたたむことになりました。後に入るテナントを紹介して下さい」との相談がありました。

９月末に小田栄に住むＯさんから「障害者の作業施設の開設を考えているのでどこか空家を紹介してほしい」と相談センターに見えられたので、一緒にＩさん宅に行き空き店舗を見たＯさんは「探していた物件にぴったりです是非お借りしたい」と早速関係者と相談し借りる方向で検討することになりました。

両者が借用する条件など何回か話し合って１２月１日から借りることで契約がまとまりました。

Ｏさんは、「相談センターのおかげで良い条件で一軒家を借りることが出来ました。〝（株）まごころをここに”という名の作業所を２月から開設するため市への書類届け出も出来あがりました」とお礼に見えました。

施設開設のための川崎市への届け出書類に必要な、かかりつけ病院も日進町町会長さんの尽力でM病院に決まりました。

内装経費の補助も川崎市「空き店舗活用・創業支援事業補助金」の審査が２月なので、通れば２分の１が受けられる事も教えていただき現在必要者類を揃えているところです。資金問題で困っていたところですので助かります。

障害者の自立支援と就職の場を保障するために、２月の開設目指して頑張りたいと喜んでおられました。